

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-348148  
 (43)Date of publication of application : 15.12.2000

(51)Int.Cl.

G06K 17/00

(21)Application number : 11-159109  
 (22)Date of filing : 07.06.1999

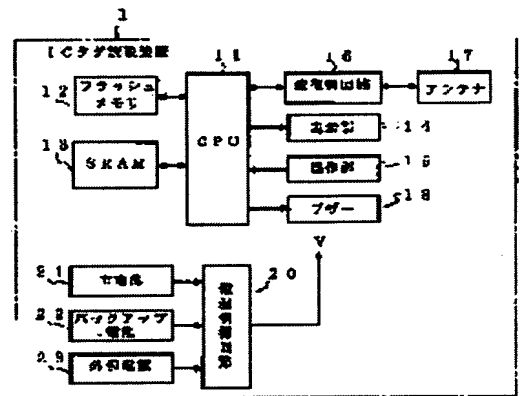
(71)Applicant : TAMURA ELECTRIC WORKS LTD  
 (72)Inventor : IKEDA MITSURU  
 MIHASHI MASAO

## (54) IC TAG READER

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent an IC tag from being set again and reused by accurately discriminating whether the IC tag is a tag set to an article again.

SOLUTION: An IC tag reader 1 preliminarily reads tag information of an IC tag, and management information to manage the tag information is inputted, and read tag information and management information are registered in an SRAM 13 in relation to each other. When it is monitored whether the IC tag is correct or not, it is judged whether information can be read from the IC tag or not; and if the IC tag is peeled off an article and is wrongfully altered and is set to the article again, abnormality processing is executed to display 'tag unreadable' or 'no tag information' on a display part 14 because tag information cannot be read or read tag information and tag information registered in the SRAM 13 don't coincide with each other. If read tag information and registered information coincide with each other, management information corresponding to this tag information is read out from the SRAM 13 and is displayed on the display part 14.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 16.10.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 19.10.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-348148  
(P2000-348148A)

(43) 公開日 平成12年12月15日 (2000. 12. 15)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 K 17/00

識別記号

F I

G 0 6 K 17/00

テ-マコ-ド\*(参考)

F 5 B 0 5 8

L

S

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-159109  
(22) 出願日 平成11年6月7日 (1999. 6. 7)

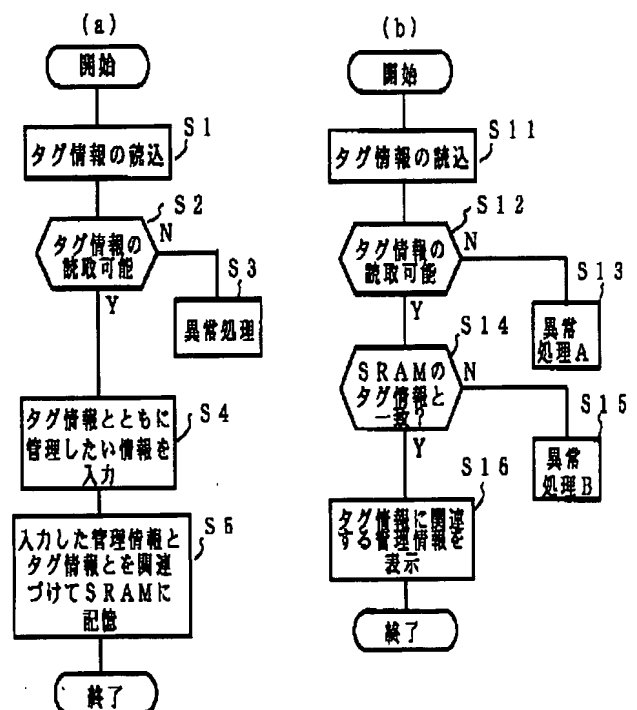
(71) 出願人 000003632  
株式会社田村電機製作所  
東京都目黒区下目黒2丁目2番3号  
(72) 発明者 池田 満  
東京都目黒区下目黒2丁目2番3号 株式  
会社田村電機製作所内  
(72) 発明者 三橋 政雄  
東京都目黒区下目黒2丁目2番3号 株式  
会社田村電機製作所内  
(74) 代理人 100064621  
弁理士 山川 政樹  
Fターム(参考) 5B058 CA17 KA32 YA20

(54) 【発明の名称】 ICタグ読取装置

(57) 【要約】

【課題】 ICタグが物品に再装着されたタグか否かを的確に識別してICタグの再装着による再利用を防止する。

【解決手段】 ICタグ読取装置1は予めICタグ3のタグ情報を読み取り、かつそのタグ情報を管理するための管理情報を入力し、読み取ったタグ情報と管理情報とを関連づけてSRAM13に登録する。そしてICタグ3の正否を監視する場合は、まずICタグ3からの情報の読み取りが可能か否かを判断し、ICタグが物品から引き剥がされ不正改ざんされてその物品に再装着されたような場合は、読み取り不可、または読み取ったタグ情報とSRAM13に登録されたタグ情報とが不一致となるため異常処理を実行して表示部14に「タグ読取不能」または「タグ情報なし」を表示する一方、読み取ったタグ情報と登録情報とが一致すると、そのタグ情報に対応する管理情報をSRAM13から読み出して表示部14に表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項１】 タグ情報が記憶されたＩＣタグの前記タグ情報を読み取るＩＣタグ読取装置において、  
予め前記ＩＣタグのタグ情報を読み取る第１の読取手段と、  
メモリとを備え、前記第１の読取手段により読み取ったタグ情報とこのタグ情報を管理する管理情報とを関連づけて前記メモリに登録することを特徴とするＩＣタグ読取装置。

【請求項２】 請求項１において、  
前記タグ情報及び管理情報が前記メモリに登録された後、前記ＩＣタグのタグ情報を読み取る第２の読取手段と、  
表示部と、  
前記第２の読取手段により読み取ったタグ情報に基づき前記メモリの管理情報を前記表示部に表示する表示制御手段とを備えたことを特徴とするＩＣタグ読取装置。

【請求項３】 請求項２において、  
前記表示制御手段は、前記第２の読取手段により読み取ったタグ情報が前記メモリに登録されていない場合は前記表示部に未登録の旨を表示することを特徴とするＩＣタグ読取装置。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ＩＣタグのタグ情報を読み取るＩＣタグ読取装置に関する。

【０００２】

【従来の技術】 一般にこの種のＩＣタグは、情報を記憶するメモリなどからなるＩＣチップと、ＩＣチップに接続され外部装置との間で非接触で信号を送受するアンテナと、ＩＣチップとアンテナ間を接続する導線部とからなる。このようなＩＣタグは近年は店舗に陳列された高価な物品等に貼り付けられ、外部装置からアクセスされるとＩＣタグはＩＣチップに記憶されている物品の品名や価格などの固有のタグ情報をアンテナを介して外部装置に送出する。店舗に設けられた前記外部装置側ではそのＩＣタグからのタグ情報を読み取り、読み取ったタグ情報に基づき前記物品の販売料金を徴収するようにしている。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、前記ＩＣタグを物品から取り出すとともに、取り出したＩＣタグのＩＣチップを何らかの手段により不正に取り外して、取り外したＩＣチップの代わりに、例えば前記物品の価格が不当に低価格に偽造されたタグ情報を有する新たなＩＣチップと交換してＩＣタグに再装着し、そのＩＣタグを前記物品に再装着したような場合は、外部装置側ではこうしたＩＣチップの交換を識別することができない。このため前記物品を販売する店舗側ではその物品を本来の価格より安い価格で販売することになり、店舗

側の被害が増大するという問題を生じている。したがって本発明は、ＩＣタグが物品に再装着されたタグか否かを的確に識別してＩＣタグの再装着による再利用を防止することを目的とする。

【０００４】

【課題を解決するための手段】 このような課題を解決するために本発明のＩＣタグ読取装置は、物品に貼付られタグ情報が記憶されたＩＣタグの前記タグ情報を読み取るＩＣタグ読取装置であって、予めＩＣタグのタグ情報を読み取る第１の読取手段と、メモリとを備え、第１の読取手段により読み取ったタグ情報とこのタグ情報を管理する管理情報とを関連づけてメモリに登録するようにしたことにより特徴づけられる。ここで、タグ情報及び管理情報がメモリに登録された後にそのＩＣタグのタグ情報を読み取る第２の読取手段と、表示部と、表示制御手段とを備え、表示制御手段は、第２の読取手段により読み取られたタグ情報に基づいてメモリの管理情報を表示部に表示するようにしたものである。また、表示制御手段は、第２の読取手段により読み取られたタグ情報がメモリに登録されていない場合は表示部に未登録の旨を表示する。

【０００５】

【発明の実施の形態】 以下、本発明について図面を参照して説明する。図１は本発明に係るＩＣタグ読取装置の構成を示すブロック図である。図１において、本ＩＣタグ読取装置１には、このＩＣタグ読取装置１の全制御を行うＣＰＵ１１が設けられ、ＣＰＵ１１には、ＣＰＵ１１が実行するプログラムが格納されるフラッシュメモリ１２と、データが格納されるＳＲＡＭ１３と、表示部１４と、操作部１５と、アンテナ１７を介して送受信されるデータの変調及び復調を行う変復調回路１６と、プザー１８とが接続されている。

【０００６】 また、ＩＣタグ読取装置１には、以上の各部に電源を供給するための電源部が設けられ、電源部は、主電池２１と、バックアップ電池２２と、外部電源２３と、主電池２１、バックアップ電池２２及び外部電源２３からの電源を入力してＣＰＵ１１やフラッシュメモリ１２等の各部に電源電圧Ｖを供給する電源制御回路２０とからなる。

【０００７】 以上のように構成されたＩＣタグ読取装置１では、電源部から電源が投入されるとＣＰＵ１１がフラッシュメモリ１２内のプログラムを実行することにより、物品に貼り付けられその物品固有の情報であるタグ情報が格納されている後述の非接触ＩＣタグ（以下、ＩＣタグ）からの前記タグ情報をアンテナ１７及び変復調回路１６を介して読み取るものである。そして、ＩＣタグからのタグ情報の読み取りの有無または読み取ったタグ情報の内容に応じ、ＩＣタグの再利用の有無やそのＩＣタグが貼り付けられている筐体内の装置のプログラムの不正改造の有無を識別するものである。

【0008】図2はICタグ読取装置1により識別されるICタグの構成を示すブロック図である。図2において、ICタグ3は、CPU31と、電氣的に書き込み消去が可能なメモリ32と、アンテナ34を介して送受信されるデータの変調及び復調を行う変復調回路33と、ICタグ読取装置1からの電波信号に基づきアンテナ34に発生した電圧を入力してCPU31及び変復調回路33へ電源電圧Vとして供給する電源制御回路35とが設けられている。

【0009】さて以上のように構成されたICタグ3では、ICタグ読取装置1が近づけられICタグ読取装置1から電波信号が送信されると、上述したようにアンテナ34にその電波信号に基づく電圧が誘起され、その誘起電圧が電源制御回路35により平滑処理されてCPU31及び変復調回路33に供給される。CPU31は前記電源の供給により起動され、ICタグ読取装置1からのコマンドを受信すると、メモリ32に予め格納されている自身のタグ情報を読み出し、変復調回路33に送り、変復調回路33ではそのタグ情報を変調してアンテナ34を介しICタグ読取装置1へ送信する。ICタグ読取装置1はそのタグ情報に基づいてICタグ3の正否を識別する。

【0010】図3は、ICタグ3のタグ情報を読み取るICタグ読取装置1の動作を示すフローチャートである。このフローチャートにしたがって本発明の要部動作を説明する。ICタグ読取装置1はICタグ3のタグ情報を事前に読み取ってSRAM13に格納する。この場合、ICタグ読取装置1のCPU11は、まず、アンテナ17及び変復調回路16を介し、ICタグ3のメモリ32に記憶されているタグ情報の読み込みを図3(a)のステップS1で行う。ここで、ICタグ3のタグ情報の読み取りができずステップS2で「N」と判定されるとステップS3で異常処理を行う。

【0011】一方、ICタグ3のタグ情報が読み取られステップS2の判定が「Y」となると、CPU11は読み取ったタグ情報をSRAM13に格納する。また、このときそのタグ情報を管理するための管理情報が扱い者の操作部15の操作によりステップS4で入力されると、CPU11はこの入力した管理情報を前記タグ情報に関連づけてステップS5でSRAM13に格納する。このように、ICタグ3のタグ情報を事前に、ICタグ読取装置1により読み取り、かつそのとき扱い者により入力操作され前記タグ情報を管理するための管理情報も入力して、読み取ったタグ情報と入力した管理情報とを関連づけてSRAM13に登録する。

【0012】こうしてICタグ読取装置1のSRAM13にタグ情報及びその管理情報とが初期登録された後、ICタグ読取装置1ではICタグ3内の前記タグ情報を必要に応じて監視する。この場合、ICタグ読取装置1のCPU11はまず図3(b)のステップS11でアン

テナ17及び変復調回路16を介し、ICタグ3のメモリ32に記憶されているタグ情報の読み込みを行う。ここで、タグ情報の読み取りができない場合はステップS12で「N」と判定される。このようなときには、CPU11はステップS13で異常処理Aを行う。そして、この異常処理Aにおいて表示部14に図4(a)に示すような「タグ情報読取不能」を表示し、かつブザー18を「ピッピッピッ」と3回鳴動させて異常を報知する。

【0013】一方、ICタグ3のタグ情報の読み取りが可能であれば図3(b)のステップS12の判定が「Y」となる。この場合、CPU11は読み取ったタグ情報とSRAM13に初期登録したタグ情報との一致をステップS14で判断する。そして、両者が不一致となると、ステップS15で異常処理Bを行う。この異常処理Bでは、CPU11は表示部14に図4(b)に示すような「タグ情報なし」等のタグ情報未登録の旨を表示し、かつブザー18を「ピッピッピッ」と3回鳴動させて異常を報知する。

【0014】また、読み取ったタグ情報とSRAM13に初期登録したタグ情報とが一致しステップS14の判定が「Y」となると、CPU11はブザー18「ピッ」と1回鳴動させて正常を報知するとともに、SRAM13からそのタグ情報に関連づけて登録された管理情報を読み出しステップS16で表示部14に表示する。即ち、この例では、図4(c)に示すように、このICタグ3が貼付された物品の製品番号「99001001」が管理情報として表示部14に表示される。

【0015】この場合、物品の製品番号(シリアル番号)を管理情報として初期登録した装置1の扱い者は、表示部14に表示されたその番号「99001001」が自身の登録した番号に間違いのないか否かを確認する。そして、表示部14に表示された番号「99001001」が自身の登録した番号に相違なければこのICタグを不正改ざんが行われていない正常なICタグと認識する。また、表示部14に表示された番号「99001001」が扱い者自身の登録した番号と相違した場合は、そのICタグ3は第三者により何らかの改ざんが行われたICタグであると認識することができる。

【0016】このように、ICタグ読取装置1は予めICタグ3のタグ情報を読み取り、かつそのタグ情報を管理するための管理情報を入力して、読み取ったタグ情報と入力した管理情報とを関連づけてSRAM13に初期登録する一方、ICタグ3の正否を監視する場合は、まずICタグ3からの情報の読み取りが可能か否かを判断し、読み取り不可の場合は異常処理Aを実行する。一方、タグ情報の読み取りが可能な場合は読み取ったタグ情報とSRAM13に初期登録されたタグ情報との一致を比較し、両者が不一致の場合はそのICタグ3は物品から引き剥がされ内部のタグ情報が不正に改ざんされた後その物品に再装着されたものと判断できる。また、I

